

Vol. 76

CONTENTS

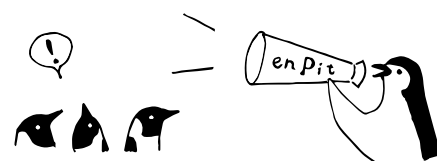
【コラム】 enPiT ってなんですか?… 井上 克郎

【解説】 実践的情報教育の教育効果をはかる … 山本 雅基

【解説】 enPiT と女性部会 WiT の活動を通じたしなやかな働き方の模索 … 渡辺 知恵美

COLUMN

enPiT ってなんですか?



Education Network for Practical Information Technologies の略称で enPiT (エンピット) と呼んでいる。これは 2012 年度から開始した文部科学省支援の教育プロジェクトで、「実践的な」情報技術の教育プログラムを全国の大学に展開するためのいろいろな活動を行っている。

2012 年度から 2016 年度までは、対象を大学院生にして、クラウドコンピューティング、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスアプリケーションの 4 つの分野で教育プログラムを展開した。その結果、核となる 15 の連携大学から全国 105 の参加大学に広がり、延べ 1,742 名のプログラム修了生を輩出することができた。

また、2016 年度から 2020 年度までは、第 2 期と称し、対象を学部生にして、ビッグデータ・AI、セキュリティ、組込みシステム、ビジネスシステムデザインと、第 1 期とほぼ同様の 4 つの分野で教育プログラムを実施中である。この第 2 期では、44 の連携大学が中心となって、より多くの大学の学生に参加してもらうべく、日夜努力を続けている。

特に「実践的」と称するところは、既存の情報科学やコンピュータ科学の授業や演習ではなかなか実施しづらい PBL (Project-Based Learning) を中心とした試みを行っているからである。企業や研究所などで活躍する外部講師を迎えて、実際の現場に近い課題に対して最先端の手法で取り組んだり、異なる大学の学生が 1 つのチームを結成してプロジェクトの推進にあたりたりしている。このような環境で学習をすれば、単に情報技術の習得のみならず、社会人として、他者と協調しながら問題解決し仕事を推進するための力 (社会人基礎力) の育成にもつながる。この学生の成長について、山本雅基先生に解説いただく。

高度な情報技術を持った技術者は、慢性的な人手不足であり、より多くの女性の進出、活躍が期待されている。enPiT でも、より多くの女子学生が情報技術分野を学び、将来、活躍できるように、いろいろな啓蒙、育成活動を行ってきている。これらの活動の詳細について、渡辺知恵美先生より解説していただく。

引続き enPiT では、多くの学生に実践的な教育を提供するとともに、教員の交流や知識獲得の場となって、多くの大学で実践的な教育が展開されていく活動を推進する。

井上克郎 (大阪大学)